

平成 23 年度

事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日



社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部静岡県済生会

平成 23 年度静岡県済生会事業実績の概要

社会福祉法人^{財団}済生会創立の趣旨を承けて済生の実を挙げ、社会福祉の増進を図るため、支部事務局においては、理事会・評議員会を中心として社会福祉法人の適切な運営管理に努めたほか、職員共済制度事業の円滑な推進を図った。

また、済生会活動の原点である「施薬救療」の精神を具現化した無料低額診療について、法人職員への啓蒙活動を行った。

病院事業においては、地域住民の健康保持増進のため一般診療のほか救命救急医療等の諸事業を行うと共に生活保護受給者、生活困難者の無料診療又は低額診療を行ったが、病院経営については、厳しい現状に直面しているため、引き続き経営改善を推進して経営の安定化に努めた。

福祉施設運営事業として、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、障害者支援施設、児童養護施設、知的障害児通園施設、身体障害者療護施設、特別養護老人ホーム、障害福祉サービス事業、身体障害者授産施設、身体障害者福祉ホーム等の運営と施設サービスの向上を図り、障害児(者)及び高齢者の福祉の増進に努めたほか、地域の在宅支援事業等についても積極的に支援をした。

静岡市高齢者福祉計画に基づく、特別養護老人ホーム「小鹿なでしこ苑」について平成 24 年 4 月開所に向け整備を行った。

また、平成 24 年度より伊豆医療福祉センター、静岡市ワーク春日がそれぞれ静岡県及び静岡市の指定管理者制度から民営化へ移行、静岡市桜の園の新体系への移行、社会福祉法の改正による施設種別の変更等についても、その事業に支障なく移行できるよう関係機関との調整を図った。

また、公益事業として経営をしている、看護専門学校、訪問看護ステーション、生活訓練ホーム、静岡市発達障害者支援センター等については、本会の目的を達成するため、病院及び関係施設と連携協調して円滑な運営に努めた。

目 次

○ 平成 23 年度事業報告

	頁
1 静岡県済生会支部事務局	1
2 静岡済生会総合病院	6
3 静岡医療福祉センター児童部	11
4 静岡医療福祉センター成人部	14
5 静岡医療福祉センターライトホーム	15
6 静岡医療福祉センター研修所	16
7 静岡市発達障害者支援センター	17
8 伊豆医療福祉センター	18
9 静岡県川奈臨海学園	21
10 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	24
11 小 鹿 苑	26
12 静岡市桜の園	29
13 静岡市心身障害者ケアセンター	33
14 静岡市ワーク春日	35
15 静岡済生会看護専門学校	36
16 静岡済生会訪問看護ステーションおしか	38

※ () 内は平成 22 年度実績

1 静岡県済生会支部事務局（共通事業）

(1) 支部事務局運営事業

社会福祉法人^{恩賜財団}静岡県済生会の法人管理並びに運営事務について、次のとおり事業を行った。

ア 理事会、評議員会の開催

・理事会

	開催日	場所
第1回	平成 23 年 5 月 20 日	静岡グランドホテル中島屋
第2回	平成 23 年 5 月 20 日	静岡グランドホテル中島屋
第3回	平成 23 年 9 月 22 日	グランディエール ブケトーカイ
第4回	平成 23 年 11 月 29 日	静岡グランドホテル中島屋
第5回	平成 23 年 11 月 29 日	静岡グランドホテル中島屋
第6回	平成 24 年 3 月 9 日	グランディエール ブケトーカイ
第7回	平成 24 年 3 月 9 日	グランディエール ブケトーカイ

・評議員会

	開催日	場所
第1回	平成 23 年 5 月 20 日	静岡グランドホテル中島屋
第2回	平成 23 年 9 月 22 日	グランディエール ブケトーカイ
第3回	平成 23 年 11 月 29 日	静岡グランドホテル中島屋
第4回	平成 24 年 3 月 9 日	グランディエール ブケトーカイ

イ 諸会議の開催

会議名称	回数
・ 支部会議	21
・ 支部執行会議	4
・ 職員共済制度委員会	1

ウ 済生会本部等との連絡調整

会議名称	回数
・ 支部業務担当理事会議（本部）	2
・ 第 67 回全国済生会常勤常務（業務担当）理事協議会（福岡）	1

- エ 静岡済生会総合病院と社会福祉施設等の有機的な連携を図るための連絡調整
 ・支部執行会議の開催（年4回）

オ 第三者委員会の運営に係る業務

	開催日	場所
第1回	平成23年6月24日	グランディエール ブケトーカイ
第2回	平成23年12月9日	伊豆医療福祉センター

カ 施設への監査及び指導

- ・会計事務所等による会計監査及び監事監査・・・全施設

	監査日	対象
監査法人及び会計事務所による会計監査	平成23年4月26日	静岡済生会総合病院
	平成23年4月27日	〃
	平成23年5月6日	福祉施設等
監事監査	平成23年5月11日	全施設

- ・監事による業務等監査・・・4施設

施設名	監査日	内容
支部事務局	平成23年6月2日	業務等監査
静岡済生会総合病院	平成23年6月2日	業務等監査
伊豆医療福祉センター	平成23年6月22日	施設視察、面談
静岡県川奈臨海学園	平成23年6月22日	施設視察、面談

- ・本部による内部監査・・・3施設

施設名	監査日	監事立会い
小鹿苑	平成23年12月7日	里見監事 山根監事
支部事務局	平成23年12月8日	
静岡済生会総合病院	平成23年12月8日	

・支部による定期監査・・・11 施設

施設名	監査日
静岡済生会看護専門学校	平成24年1月6日
静岡医療福祉センター児童部	平成24年1月10日
静岡医療福祉センター成人部	平成24年1月10日
静岡市桜の園	平成24年1月11日
静岡市ワーク春日	平成24年1月13日
小鹿苑	平成24年1月17日
訪問看護ステーションおしか	平成24年1月17日
いこいの家	平成24年1月18日
静岡市中心身障害者ケアセンター	平成24年1月18日
伊豆医療福祉センター	平成24年1月24日
静岡県川奈臨海学園	平成24年2月1日

・静岡県、静岡市による指導監査・・・8 施設

施設名	実施機関	監査日
静岡医療福祉センター児童部	静岡市	平成24年1月17日
静岡医療福祉センター成人部	静岡市	平成24年1月17日
いこいの家	静岡市	平成24年1月18日
静岡市桜の園	静岡市	平成24年1月20日
小鹿苑	静岡市	平成24年1月24日
静岡市ワーク春日	静岡市	平成24年1月25日
伊豆医療福祉センター	静岡県	平成24年1月31日
静岡県川奈臨海学園	静岡県	平成24年2月7日

・静岡県による実地指導・・・2 施設

施設名	実施機関	監査日	監査内容
小鹿苑	静岡県	平成23年10月19日	介護保険
伊豆医療福祉センター	静岡県	平成23年12月1日	障害福祉サービス事業

キ 職員研修事業の実施

研 修 名 称	回数
・ 社会保険労務士による研修会	1
・ 新会計基準研修会	1
・ 新任職員オリエンテーション	1

(2) 生活困窮者支援事業

済生会本部が作成した「生活困窮者支援総合事業」を受け地域と共に生活困窮者への支援事業を展開、事業実施にあたっては、病院及び施設とともに推進した。平成23年11月23日静岡市ワーク春日で開催した「ワークフェスティバル」に健康相談コーナーを設置し、地域住民等への済生会総合病院医師及び看護師による健康相談を実施した。

(3) 支部社会福祉事業

病院南側駐車場（静岡県より無償貸与）の収益金を財源として、静岡県済生会の総合病院・社会福祉施設利用者の福祉の向上を図るための社会福祉事業を行った。

事業実施にあたっては、「社会福祉事業実施要綱」に基づいて、総合病院及び社会福祉施設において計画した事業のうち、特に利用者に対して利便性の向上が図れるなど社会福祉事業として貢献度が大きい事業を選択して単年度予算の範囲内で実施する。

対象施設	事業内容	金額（円）
静岡済生会総合病院等7施設	病院北館1館フロアー 椅子の更新事業等9事業	6,778,791

(4) 静岡県済生会職員共済制度事業

職員及び家族の福利厚生向上を図るため実施した事業の実績は、次のとおりであった。

事業名	平成23年度		平成22年度	
	人数(人)	決算額(円)	人数(人)	決算額(円)
退職共済事業給付金	46	163,307,957	60	213,333,654
医療共済給付金	5,233	31,421,404	4,810	27,659,432
職員共済制度資金貸付事業	2	1,271,760	2	1,685,215

(5) 施設整備事業

ア 特別養護老人ホーム施設支援

平成24年4月開所を迎える特別養護老人ホーム 小鹿なでしこ苑の施設整備支援を行った。また、開設準備室が開所した平成23年10月以降も、継続して支援を行った。

平成23年7月25日 入 札

平成23年7月26日 工事着工

平成23年10月1日 開設準備室開所

平成24年3月15日 竣 工

平成24年4月 1日 開 所

イ 障害児入所施設（旧重症心身障害児施設）事業施設整備

伊豆医療福祉センターは、重症心身障害児施設へ転換して以降、施設（病室・多目的室等の）や設備（医療機器等）の狭隘、老朽化に問題を抱えながら運営していた。

平成24年度より静岡県から当法人への運営の移譲と平成24年度施設増改築を行い、更なる利用者の処遇の向上を図れるよう関係機関との調整を行った。

※ () 内は平成 22 年度実績

2 静岡済生会総合病院 (病院等事業)

静岡県中部地域の中核病院 (昭和 23 年 6 月 1 日開設) として、入院診療を中心とする診療の充実に努めるとともに、救命救急センター、地域災害医療センター、健康管理センターのほか病診連携の強化・地域福祉サービス事業の運営・活動を積極的に進め、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進を図った。

医療の質及びサービスの向上を図るため、医師等職員の確保、看護職員の定着対策、医療安全対策の強化に努めた。

また、手術室・分娩センター・NICU と分散されていた機能を周産期センターとして稼働し、新生児特定集中治療室管理料及び新生児治療回復室入院医療管理料の施設基準を取得した。

そして、エコアクション 21 においてはグリーンカーテン・ピークカット運動を実施し、職員の節電及びエコに対する意識向上を図った。

(1) 病院運営事業

無料低額診療施設として、許可病床 633 床の有効利用と 25 科の診療の安定した運営に努めた。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
入院患者総延数	157,868 名	159,307 名
1 日平均入院患者数	431.3 名	436.5 名
入院患者 1 人 1 日当りの診療費	55,217 円	54,018 円
外来患者総延数	227,818 名	234,577 名
1 日平均外来患者数	933.7 名	965.3 名
外来患者 1 人 1 日当りの診療費	12,655 円	11,949 円

(2) 救命救急センター運営事業・地域災害医療センター事業等

昭和 55 年 7 月 1 日より業務開始された救命救急センターに、医師・看護師・診療放射線技師・臨床検査技師及び事務員を配置し、休日夜間など 24 時間体制で治療を行った。

東日本大震災の発生を受け 3 月の派遣に続き、5 月 17 日より 5 月 21 日の 5 日間 4 名の職員を岩手県宮古市へ派遣し医療救護活動を行った。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
救急外来患者	15,990 名	16,928 名
入院患者	3,663 名	3,535 名
延入院患者	7,767 名	7,535 名
救急医療施設運営費等補助金	130,710,000 円	145,850,000 円
DMA T 研修延べ参加職員	0 名	5 名

(3) 看護師確保対策事業（院内保育所）

看護師の離職を防止し、潜在看護師の再就職を促進するため、院内に保育所を設けて保育士 7 名、保育助手 2 名（うち派遣 1 名）を配置し保育（夜間保育を含む）を行った。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
一日平均利用児童数	19 名	17 名
延べ利用児童数	4,895 名	4,626 名
病院内保育所運営費補助金	5,129,000 円	4,161,000 円

(4) 医療関係者研修費補助事業

臨床研修病院として、研修医を受け入れ、各科指導医による臨床実務を通じて基本的知識、技術の習得などの臨床研修を行い医師としての資質向上に努めた。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
受入研修医数	19 名	19 名
医療関係者研修費等補助金	17,330,000 円	19,673,000 円

(5) 病院駐車場事業（収益事業）

身体障害者を雇用して、病院南側駐車場（駐車可能台数 75 台）を管理運営することにより、障害者の自立促進に努めるとともに、病院・福祉施設利用者の利便性の向上を図った。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
一日平均利用台数	245.6 台	265.2 台
収支差	9,124,780 円	7,525,673 円

(6) 健康管理センター事業

地域住民及び福祉施設入所者、一般事業所従業者の疾病予防、健康の保持増進に定めるため、生活習慣病集団検診・一般健康診断・人間ドック・脳ドック・特定健診等を積極的に実施した。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
人間ドック	1,473 名	1,637 名
成人病検診	6,327 名	6,757 名
婦人検診	2,011 名	1,689 名

(7) 地域福祉サービス事業

社会福祉法人の総合病院として、各福祉相談活動を通じ、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進など社会福祉の向上に努めた。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
医療相談他	8,612 件	10,371 件
心理相談他	3,561 件	3,531 件

(8) 無料低額診療事業

生計困難者を対象に、無料または低額な料金での診療、無料の健康相談、保健教育等を行った。診療活動においては、特に、生活保護患者以外の生計困難者について関係機関と連携の上、対象者への支援を拡大し、健康相談、保健教育については地域に出向いた活動を実施した。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
無料低額診療事業患者延数	18,404 件	16,489 件

(9) 生活困窮者支援事業

無料低額診療対象者のみならず、生活困窮者全般を対象に、無料健康相談や無料または低額な料金での検診等を行った。無料低額診療事業とあわせて、支部内の他施設も含め、地域の関係機関・団体また当事者ととともに啓蒙活動、教育活動の他、地域での福祉的課題について積極的に取り組むを行った。

主な対象者：刑余者（刑務所などを出所した者）、DV被害者、ホームレス、単身高齢者、就労困難者への支援など

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
健康診断等	792 件	687 件

(10) 岡本一男記念基金事業

静岡県済生会に勤務する職員が行う医学的研究・研修に対し助成するとともに、優れた業績の顕彰を行い、福祉・医療の向上を図った。

(医学の研究・研修・福祉医療活動 等)

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
助成金	309,850 円	524,025 円

(11) ナーススクール事業

将来の生き方や職業の選択について考えている、主に静岡市内の小・高校生を対象として、保健・医療・福祉への理解を深めるため、ナース体験等の研修を開催した。

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
小学生参加人数	28 名	28 名
高校生参加人数	84 名	95 名

※ () 内は平成 22 年度実績

3 静岡医療福祉センター児童部 (病院等事業)

(1) 肢体不自由児施設運営事業

入所児及び通院児に対し、リハビリテーションを中心にした専門的医療・教育・施設内保育・生活指導等の「総合療育」を実施した。従来の肢体不自由児療育に加え、近年発達障害児の増加も顕著であり、利用者からの幅広いニーズに応えた。入所児数は年々減少傾向にあるが、外来患者数は増加をしている。

(入 所)		(外 来)	
定 員	60 名 (60 名)	年間延患者	44,384 名 (41,603 名)
年間入所児童数	55 名 (75 名)	年間診療日数	265 日 (269 日)
年間退所児童数	56 名 (68 名)	一日平均患者数	167.5 名 (155 名)
年間延在所児童数	19,492 名 (20,815 名)		
一日平均在所児童数	53.4 名 (57 名)		

疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	百分比 (%)
脳 性 麻 痺	84	79.2
進行性筋・神経疾患	3	2.8
二 分 脊 椎	2	1.9
その他	17	16.1
計	106	100.0

月別在所児童数

年 月	初日在籍者数 (名)	延人数 (名)	
23 年	4 月	1,609	
	5 月	1,665	
	6 月	1,628	
	7 月	1,621	
	8 月	1,655	
	9 月	1,589	
	10 月	1,626	
	11 月	1,612	
	12 月	1,618	
	24 年	1 月	1,672
		2 月	1,598
		3 月	1,599
計	633	19,492	
月 平 均	52.8	1624.3	
一 日 平 均		53.4	

(2) 心身障害児（者）療育相談事業

縣市町等の実施事業主体からの依頼をうけて、次の相談事業等に医師を派遣した。

ア 肢体不自由児療育指導相談所（静岡県肢体不自由児協会）

1年 2回（2回）

イ 乳幼児療育教室「すくすく運動教室」（藤枝市）

1年 6回（6回）

ウ 身体障害者巡回相談（静岡県中央身体障害者更生相談所）

1年 1回（1回）

(3) 短期入所事業

重症心身障害児（者）家庭生活支援事業

平成15年4月より支援費制度における指定居宅支援事業所として、居宅受給者証の発行を受けた児童及び重症心身障害者の方に短期間の施設入所サービスを提供した。平成18年10月からの制度変更により、障害者自立支援法による障害福祉サービス事業所の指定を受け実施した。

・定員	*空床利用型
・年間利用人数	107名（179名）
・一日平均利用人数	0.28名（0.5名）

(4) 静岡市障害者等相談支援事業

在宅福祉を担当する相談支援員を中心に、医療施設機能を提供しながら在宅の障害児（者）の相談支援や施設短期入所の受け入れなど、地域に住む家族の生活への具体的な支援事業を実施した。

①静岡市障害者等相談支援事業

- ・ボランティア育成活動、地域の啓発活動、
施設入所の指導・助言、援助プログラムの作成

支援等延件数 358人 1956件（1,614件）

②静岡市障害児等療育支援事業

ア 在宅訪問療育支援事業

- ・派遣職員 医師、PT、OT、ST、心理士等
- ・活動先 障害児保育実施園、重度障害児（者）訓練ホームの巡回
在宅訪問

支援等延件数 161人 266件（337件）

イ 在宅外来療育支援事業

- ・個別相談、療育音楽、グループ保育活動

支援等延件数 14人 277件 (259件)

ウ 施設支援一般指導事業

- ・療育研修会、障害児保育研修、発達フォローアップ教室、自主研修会等の指導等

支援回数 47回 (43回)

※ () 内は平成 22 年度実績

4 静岡医療福祉センター成人部 (社会福祉事業)

(1) 障害者支援施設事業

平成 20 年 10 月から障害者自立支援法による新体系へ移行し、平成 23 年度からは生活介護の利用希望者の増加により、日中については自立訓練を廃止し、生活介護 70 名として事業を行った。

- ・定員 施設入所支援 60 名 (60 名)
- ・年間入所者数 12 名 (14 名)
- ・年間退所者数 14 名 (12 名)
- ・年間延在所者数 21,050 名 (21,687 名)
- ・一日平均在所者数 57.5 名 (59.4 名)

疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

病名	年間実人員 (名)	百分比 (%)
脳卒中	36	53.0
その他の脳原性疾患	11	16.2
脳外傷	2	2.9
その他	19	27.9
計	68	100.0

月別在所者数

年月	初日在籍者数 (名)	延人数 (名)
23 年 4 月	56	1,706
5 月	58	1,617
6 月	56	1,674
7 月	57	1,794
8 月	58	1,798
9 月	58	1,719
10 月	57	1,808
11 月	59	1,770
12 月	59	1,829
24 年 1 月	59	1,829
2 月	59	1,703
3 月	59	1,803
計	695	21,050
月平均	57.9	1754.1
一日平均		57.5

(2) 短期入所事業 (空床)

平成 18 年 10 月からは指定障害福祉サービス事業所として短期入所事業を実施した。

- ・年間延利用者人数 836 名 (275 名)

※ () 内は平成 22 年度実績

5 静岡医療福祉センターライトホーム (社会福祉事業)

(1) 入所者指導事業

入所者の技術 (鍼・灸・マッサージ) 及び生活訓練動作の指導を行い、自立生活ができるよう養成に努めた。

・定員	20名 (20名)
・年間新入所者数	1名 (0名)
・年間退所者数	3名 (2名)
・年間延在所者数	1,950名 (2,185名)
・一日平均在所者数	6.1名 (7名)

疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

疾病分類	入所実人員 (名)	通所実人員 (名)	百分比 (%)
先天性視覚障害者	2	1	42.9
中途視覚障害者	1	3	57.1
計	3	4	100.0

月別在所者数

年 月	入所者延人数 (名)	通所者延数 (名)	延人数 (名)
23年 4月	120	44	164
5月	93	70	163
6月	72	96	168
7月	93	88	181
8月	93	92	185
9月	90	88	178
10月	93	87	180
11月	90	66	156
12月	93	63	156
24年 1月	93	55	148
2月	87	63	150
3月	93	28	121
計	1,110	840	1,950
月間平均延数	92.5	70	162.5
一日平均	3.03	3.14	6.1

(年間通所日数 267 日)

6 静岡医療福祉センター研修所

(1) 研修所運営事業

地域の医療・社会福祉関係従事者の研修や関係会議の場として会議室等を提供するとともに、自主事業として、リハビリテーション体験スクールなどの社会福祉関係の研修会、講習会等を実施し、地域における医療・社会福祉への理解や意識の向上に努めた。

ア 会議室、ミーティング室利用状況

・ 社会福祉関係機関の研修会等	1, 169	名 (1, 617 名)
・ 福祉団体、ボランティア関係等の会議・講習会	4, 130	名 (2, 797 名)
・ 当福祉施設の見学研修等	111	名 (158 名)

イ 宿泊施設利用状況

・ 延 数	73	名 (92 名)
-------	----	----------

(2) 普及啓発事業

「高校生リハビリテーション体験スクール」の開催

・ 7月28日、7月29日	合計 32 名 (54名) (2回開催)
---------------	----------------------

※ () 内は平成 22 年度実績

7 静岡市発達障害者支援センター（公益事業）

発達障害者支援法に基づく発達障害者に対する相談支援、発達支援、就労支援、関係機関に対する普及啓発及び研修等を行い、また、静岡市在住の自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害がある本人、家族、関係者及び関係機関からの相談支援を行った。

（1）発達障害児者、その家族及び関係機関等に対する相談支援

実支援人員	607 名 (598 名)	（地域内	563 名、地域外	44 名)
延支援件数	768 件 (773 名)	（地域内	716 件、地域外	52 件)

（2）発達障害児者及びその家族等に対する発達支援

実支援人員	498 名 (376 名)
延支援件数	1496 件 (1,209 名)

（3）発達障害児者に対する就労支援

実支援人員	29 名 (19 名)
実支援件数	58 件 (35 件)

（4）関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

ア センター主催で企画した研修	実施回数	32 回 (22 回)
	延参加人数	1971 名 (2,041 名)
イ 外部から講師依頼を受けた研修	実施回数	32 回 (14 回)
	延参加人数	1033 名 (665 名)
ウ 事業説明	実施回数	0 回 (17 回)
	延参加人数	0 名 (618 名)

（5）関係施設及び関係機関等との連携

連絡協議会・調整会議の開催回数	実施回数	28 回 (37 回)
	延参加団体数	590 団体 (731 団体)

※ () 内は平成 22 年度実績

8 伊豆医療福祉センター（社会福祉事業）

（1）重症心身障害児施設運営事業

平成 21 年度から第 2 期指定管理者制度に入り、今年度はその 3 年目であった。入所者は児童が 13 名、成人が 16 名となっており、成人の割合が児童を上回っている。

入所における療育支援のほか、外来では、脳神経外科、発達行動小児科、小児神経科、整形外科、リハビリテーション科、障害児(者)歯科による専門診療を実施した。また、在宅重症心身障害児(者)通園事業(B型)、短期入所事業(日中一時支援事業を含む)、障害児(者)地域療育支援センター事業等を実施し、静岡県東部の障害児(者)の総合的な療育支援を担っている。

(入 所) (外 来)

- | | | | |
|---------------|--------------------|----------|---------------------|
| ・定員 | 43 名 (43 名) | ・年間延患者数 | 24,154 名 (22,174 名) |
| ・年間入所児童(者)数 | 3 名 (1 名) | ・年間診療日数 | 286 日 (291 日) |
| ・年間退所児童(者)数 | 3 名 (1 名) | ・一日平均患者数 | 84.5 名 (76.2 名) |
| ・年間延在所児童(者)数 | 10,606 名 (9,970 名) | | |
| ・一日平均在所児童(者)数 | 29.0 名 (27.3 名) | | |

疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

病名	年間実人員(名)	百分比(%)
脳性麻痺	18	62.1
その他	11	37.9
計	29	100.0

月別在所児童(者)数

年 月	初日在籍者数(名)	延人数(名)
23 年 4 月	29	881
5 月	29	899
6 月	29	867
7 月	29	899
8 月	29	893
9 月	29	850
10 月	29	890
11 月	29	841
12 月	29	921
24 年 1 月	30	921
2 月	30	845
3 月	29	899
計	350	10,606
月平均	29.2	883.8
一日平均		29.0

(2) 在宅重症心身障害児(者)通園事業B型

・定員	5名	(5名)
・年間延通園児(者)数	1,005名	(985名)
・一日平均通園児(者)数	4.8名	(4.7名)
・年間通園日数	210日	(210日)

(3) (4) 障害福祉サービス事業(短期入所事業・日中一時支援事業)

・定員	5名	(5名)
・年間延利用人数	1,651名	(1,661名)
・一日平均利用人数	2.5名	(4.6名)
・年間実施日数	366日	(365日)

(5) 静岡県障害児(者)地域療育支援センター事業

在宅福祉を担当するコーディネーターを配置し、登録された障害児(者)を中心に相談・各種福祉サービスの提供及び調整を、電話・訪問・来所の形で行っている。在宅訪問・外来・施設支援指導事業を活用して、医師・PT・OT・ST・心理士・管理栄養士・看護師・保育士等を派遣コーディネートし、在宅障害児(者)の療育指導を行った。また、障害児(者)が充実して暮らせるまちづくりを目指し、行政機関等と会議を通じて連携を図っている。

・在宅支援訪問療育指導事業	121回	(175回)
・外来療育等指導事業	150回	(132回)
・地域生活支援事業(電話・訪問・来所)	167回	(514回)
・施設支援一般指導事業	130回	(136回)
・各種連絡会・自立支援協議会等参加	46回	

(6) 静岡県発達障害者支援センター機能強化事業

自閉症、注意欠陥多動性障害等がある発達障害児(者)に対し、訪問・外来・電話等の方法で、ライフステージに応じた生活を支援するため地域での福祉サービスの情報提供、また、学校・保護者を含む関係機関との調整会議への参加を実施してきた。

療育3事業については地域療育支援センター事業と合同で行っている。

・地域生活支援事業(電話相談含む)	687回	(285回)
-------------------	------	--------

(7) 地域協力事業

結核定期健康診断

東部特別支援学校高等部の生徒に対して実施した。

	H23 計画・目標	H23 実績
延人数	10 名	7 名

※（ ）内は平成 22 年度実績

9 静岡県川奈臨海学園（社会福祉事業）

（1）児童養護施設運営事業

虐待を受けた児童が増加する中、2才児から高校生まで月平均69.1名の子ども達に対し、職員全体がかかわりながらより良いケアに努力した。

- ・定員（暫定定員） 100名 暫定定員 87名（90名）
- ・年間入所児童数 8名（19名）
- ・年間退所児童数 20名（21名）
- ・年間延在所児童数 25,199名（26,867名）
- ・一日平均在所児童数 68.8名（73.6名）

疾病別人員（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

病名	年間取扱実人員（名）	百分比（％）
慢性疾患	10.3	14.9
精神疾患	8.0	11.6
養護	50.8	73.5
計	69.1	100.0

月別在所児童数

年月	初日在籍者数（名）	延人数（名）
23年 4月	70	2,125
5月	71	2,241
6月	73	2,190
7月	71	2,191
8月	68	2,070
9月	68	2,040
10月	69	2,139
11月	69	2,070
12月	69	2,134
24年 1月	68	2,108
2月	67	1,943
3月	67	1,948
計	830	25,199
月平均	69.1	2,099
一日平均		68.8

ア 小規模グループケア

小規模グループケア棟で定員6名、専任職員と本体施設職員がシフトを組み、児童との関係を密接にし、ケアの内容を深めた。

イ 乳幼児受け入れ

川奈幼稚園や近隣地域と連携を取り、理解と協力を得ながら、積極的な乳幼児の受け入れを行った。(月平均12.7名在園)

ウ りんかい保育室(伊東市児童健康支援デイサービス事業)

病気、病後児で家庭での療養が困難な幼児、児童をお預かりしている。近年の核家族化や利用児の定着等があり、利用が増加している。今後も保育園等へのPRを積極的に行いたいと思っている。

・登録児童数	615名	(589名)
・年間利用延児童数	303名	(263名)
・月平均利用児童数	25.3名	(21.9名)

(2) 川奈臨海学園診療所(社会福祉事業)

週1回、非常勤医師が小児神経科の予約診療と入所児童の治療を行っていたが、常勤医師の確保が困難な為、平成24年1月31日で廃止となった。

・年間外来患者数	602名	(799名)
・月平均外来患者数	60.2名	(66.6名)
・一日平均外来患者数	15.1名	(17.1名)

患者数調 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日)

年	月	外来患者延数 (名)	
23 年	4 月	82	
	5 月	60	
	6 月	75	
	7 月	49	
	8 月	61	
	9 月	47	
	10 月	58	
	11 月	60	
	12 月	48	
	24 年	1 月	62
		2 月	—
		3 月	—
計		602	
月 平 均		60.2	
一 日 平 均		15.1	

※ () 内は平成 22 年度実績

10 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家 (社会福祉事業)

(1) 知的障害児通園施設運営事業

知的障害児通園施設として、就学前の心身障害児に対して集団参加を通して、生活と遊びを充実させ、健やかな成長、発達をしていくように支援し、併せて就園・就学に向けての基礎作りをした。

・入園児数 (定員)	50名	(50名)
・年間新入所児童数	19名	(20名)
・年間退所児童数	19名	(19名)
・年間延在所 (通園) 児童数	9,465名	(9,070名)
・一日平均在所 (通園) 児童数	41.0名	(39.4名)

疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

病名	年間取扱実人員 (名)	百分比 (%)
脳性麻痺	10	20.0
自閉症(自閉傾向を含む)	18	36.0
精神遅滞(発達遅滞を含む)	4	8.0
染色体異常(ダウン症他)	3	6.0
その他	15	30.0
計	50	100.0

月別在所児童数

年 月	初日在籍者数 (名)	延人数 (名)	
23 年	4 月	675	
	5 月	756	
	6 月	882	
	7 月	806	
	8 月	776	
	9 月	798	
	10 月	859	
	11 月	875	
	12 月	719	
	24 年	1 月	735
		2 月	796
		3 月	788
計	600	9,465	
月 平 均	50	788.8	
一 日 平 均		41.0	

(年間通園日数 231日)

(2) 地域療育相談事業

在宅の心身障害児（者）の外来療育相談や母（父）子通園による親子教室を月平均19.6回実施した。

- ・親子教室参加児数 169名 (125名) 参加児延数 2,075名 (1,597名)
- ・療育相談実施児数 77名 (56名) 実施児延数 77名 (56名)

(3) 地域福祉事業

地域に開かれた通園施設として、地元をはじめ広く市民やボランティア、学生、主婦の方々との交流を実施した。

- ・いこいの家通信発行 12回 (12回) 360部 (360部)
- ・夏祭り参加者 434名 (370名)
- ・城東保健福祉エリア地域交流まつり参加者 約4,500名 (約3,000名)
- ・実習生受入 25名 (67名) 延302名 (220名)
- ・体験研修受入 34名 (43名) 延34名 (60名)
- ・ボランティア受入 個人23名 団体59名 延540名
(14名) (109名) (483名)

※ () 内は平成 22 年度実績

1 1 小 鹿 苑 (社会福祉事業)

(1) 特別養護老人ホーム運営事業 80名定員 (80名)

介護保険導入時より入所希望は個々による申し込みとなった。平成 23 年度末現在で入所希望者は 218 名 (222 名) である。

- ・年間新入所者数 23 名 (17 名)
- ・年間退所者数 24 名 (18 名)
- ・一日平均在所者数 78.0 名 (77.7 名)
- ・入所者平均年齢 81.5 歳 (77.2 歳)
- ・平均介護度 3.6 (3.7)

疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日現在)

病 名	年間実人員 (名)	百分比 (%)
脳卒中等	36	34.9
認知症等	39	37.9
心疾患等	4	3.9
リウマチ、脊椎症等	14	13.6
その他	10	9.7
計	103	100.0

(2) 短期入所事業 定員 20 名 (20 名)

例年どおり、週末・連休期間の希望者は多数であった。また、一人年間利用日数は平均 51.4 日 (48.9 日) であった。

- ・年間延利用者数 5,868 名 (6,170 名)
- ・月平均延利用者数 489 名 (514.1 名)
- ・一日平均利用者数 16.0 名 (16.9 名)
- ・利用者平均年齢 85.9 歳 (83.9 歳)
- ・平均介護度 3.4 (3.4)

(3) 通所介護事業 定員一日 35 名 (35 名)

一週間に複数回利用を希望する方が増加し、新規希望者との調整が課題であった。また、「ドアからドア」の送迎希望者が増加し、中型バス 1 台と小型ワゴン車 4 台で対応した。

- ・年間延利用者数 9,148 名 (8,679 名)
- ・月平均延利用者数 762.3 名 (723.2 名)
- ・一日平均利用者数 29.7 名 (28.2 名)
- ・年間実施日数 308 日 (307 日)
- ・利用者平均年齢 85.5 歳 (82.8 歳)

- ・平均介護度 要支援 1.7 要介護 2.1 (要支援 1.5、要介護 2.2)

(4) 訪問介護事業

19名(17名)のホームヘルパーが稼働した。課題は利用者のADLの低下・重度化への対応、ホームヘルパーの確保である。

・年間延利用者数	9,079名 (9,046名)
・月平均延利用者数	756.6名 (753.8名)
・一日平均利用者数	29.0名 (28.9名)
・年間活動日数	313日 (312日)
・利用者平均年齢	81.2歳 (81.0歳)
・平均介護度	2.6 (2.6)

(5) 地域包括支援センター運営事業

静岡市から委託を受け、静岡市駿河区小鹿豊田地域包括支援センターとして始業した。西豊田、東豊田、東源台小学校区の介護保険の要支援1・2認定者の予防プラン作成や、高齢者の方からの総合相談、また民生委員・地区社協との連携を深めた。

・年間延相談者数	1,114名 (1,083名)
・月平均相談者数	92.8名 (90.2名)
・一日平均相談者数	4.5名 (4.4名)
・年間活動日数	244日 (243日)

(6) 居宅介護支援事業

4名(5名)のケアマネージャーが稼働し、ケアプランを作成した。要介護認定調査は年間 138件(128件)であった。

・年間ケアプラン給付管理者延数	1,604件 (1,770件)
・月平均数	133.6件 (147.0件)
・ケアプラン新規作成者	40名 (46名)
・平均介護度	2.6 (2.5)

月別在所（利用）者数

区分	特 養		短 期		デｲｰビス		ホームヘルパー		地域包括支援センター	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
23年4月	82	2,348	77	516	111	759	73	769	35	54
5月	80	2,453	63	458	112	775	74	799	63	87
6月	82	2,351	47	242	109	815	74	895	93	124
7月	81	2,442	68	536	113	771	73	789	104	132
8月	81	2,418	68	517	114	774	73	811	80	119
9月	82	2,313	73	537	112	791	72	807	73	107
10月	80	2,391	71	519	113	803	70	751	48	64
11月	81	2,353	68	511	111	775	71	762	125	155
12月	80	2,442	71	476	108	711	69	707	45	66
24年1月	80	2,364	68	512	109	670	67	646	54	80
2月	83	2,233	67	496	107	728	68	646	50	77
3月	81	2,453	65	548	104	776	67	697	33	49
合計	973	28,561	806	5,868	1,323	9,148	851	9,079	803	1,114
月平均	81.0	238.0	67.2	489.0	110.3	762.3	70.9	756.6	66.9	92.8
一日平均	78.0		16.0		29.7		29.0		4.5	

1 2 静岡市桜の園 (社会福祉事業)

(1) 身体障害者療護施設運営事業 定員 50 名 (50 名)

利用者主体のサービス体系の確立をすることが、利用者の QOL の向上に最も大切なことを念頭において事業運営を行った。特に個別サービスの充実に重点をおき、個別支援計画の策定、グループケアの導入、給食においては選択メニューの拡大、看護師による健康講演会の開催等計画的に実施できた。また、地域社会との交流については、行事(夏祭、秋桜祭、防災訓練等)を共催することによって交流を深めるとともに、社会福祉教育実践の場として各種養成機関の実習生の受け入れ及び高校生・一般の方々をボランティアとして受け入れた。

- ・ 利用実績延数 17,684 名 (17,610 名)
- ・ 退所者 4 名 (2 名)
- ・ 入所者 2 名 (2 名)

疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	百 分 比 (%)
脳卒中	6	11.4
脳性麻痺	20	38.5
脳外傷	11	21.2
脊髄小脳変性症	3	5.8
脊椎損傷	8	15.4
その他	4	7.7
計	52	100.0

(2) 短期入所事業 定員 5 名 (5 名)

5 市町から利用があった。新規利用者は 7 名 (8 名) であった。定期的に利用する方が増加しており、実利用人数の半数近くに上っている。対応が困難な方に対しては、利用者本人、ご家族の要望を取り入れる工夫をし、適切なサービスを提供するよう努めた。

- ・ 実利用人数 52 名 (50 名)
- ・ 利用実績延数 904 名 (1,346 名)

(3) 自立訓練 (機能訓練) 事業 定員 15 名 (15 名)

障害者自立支援法による機能訓練・送迎・入浴・食事のサービスを提供するとともに、利用者のニーズに応じて市内各所への外出等、社会性向上の活動や、専門家による創作的活動等の事業を実施した。

- ・ 実利用人数 56 名 自立 1 名、日中一時 55 名 (58 名) (自立 4 名、日中一時 54 名)
- ・ 利用実績延数 2,099 名 自立 94 名、日中一時 2,005 名
(2,079 名) (自立 108 名、日中一時 1,971 名)

月別在所（利用）者数

(名)

区 分 年 月	療 護 施 設		短期入所		自立訓練（機能訓練）	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
23年 4月	50	1,475	16	78	45	185
5月	50	1,469	17	91	44	156
6月	50	1,443	18	81	43	191
7月	50	1,492	20	79	45	174
8月	50	1,480	23	99	45	183
9月	49	1,447	21	75	44	166
10月	50	1,517	20	88	44	175
11月	50	1,447	17	74	45	169
12月	49	1,505	13	50	45	161
24年 1月	50	1,482	14	56	45	171
2月	50	1,400	16	70	43	189
3月	50	1,527	17	63	45	179
合 計	598	17,684	212	904	533	2,099
月平均	49.8	1473.6	17.7	75.3	44.4	174.9
一日平均		48.3		2.5		8.7

(自立訓練内訳)

自立訓練（機能訓練）		日中一時	
人数	延人数	人数	延人数
1	7	44	178
1	7	43	149
1	9	42	182
1	8	44	166
1	8	44	175
1	8	43	158
1	8	43	167
1	8	44	161
1	6	44	155
1	8	44	163
1	8	42	181
1	9	44	170
12	94	521	2,005
1	7.8	43.4	167.1
	0.4		8.3

(年間通所日数 242日)

(4) 生活訓練ホーム静岡市桜の園運営事業（公益事業）

利用者への支援として下記の支援を行なった。

- ア ADLの自立、心身の機能維持に関する支援
- イ グループ活動を通して社会性を高める支援
- ウ 生活圏を拡げ社会参加を促す支援等

なお、介護疲れを訴える家族が増え、支援事業と連携をすることにより、家族への支援の充実が図られた。

- ・ 実利用人数 22名 (21名)
- ・ 利用実績延数 3,258名 (3,210名)

利用者数調 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

区 分	定 員	年 間 新利用者数	年 間 退所者数	年 間 延利用者数	一日平均 利用者数
生活訓練ホーム 静岡市桜の園	25 (25)	1 (2)	0 (0)	3,258 (3,210)	13.5 (13.3)

月別利用者数 (名)

区 分		生活訓練ホーム静岡市桜の園		
年 月		初日在籍者数	延 人 数	
23年	4月	22	266	
	5月	22	265	
	6月	22	304	
	7月	22	271	
	8月	22	277	
	9月	22	273	
	10月	22	288	
	11月	22	250	
	12月	22	236	
	24年	1月	22	251
		2月	22	280
		3月	22	297
合 計		264	3,258	
月平均		22	271.5	
一日平均			13.5	

(年間通所日数 242日)

(5) 生活訓練ホーム静岡市桜の園城北館運営事業（公益事業）

運営事業の内容については、生活訓練ホーム静岡市桜の園と同様の活動を展開した。視覚、聴覚等、様々な重複障害をもつ利用者が多いため、意思疎通をはかる創意工夫や施設内の整備が必要である。

- ・実利用人数 15名（18名）
- ・利用実績延数 2,828名（2,604名）

利用者数調 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

区 分	定 員	年 間 新利用者数	年 間 退所者数	年 間 延利用者数	一 日 平均利用者数
生活訓練ホーム 静岡市城北館	25 (25)	2 (0)	0 (4)	2,828 (2,604)	11.7 (10.8)

月別利用者数 (名)

区 分	生活訓練ホーム城北館			
	年 月	初日在籍者数	延 人 数	
23年	4月	15	237	
	5月	15	229	
	6月	15	267	
	7月	15	229	
	8月	15	253	
	9月	15	227	
	10月	15	226	
	11月	15	240	
	12月	15	212	
	24年	1月	15	224
		2月	15	245
		3月	15	239
合 計	180	2,828		
月平均	15	235.6		
一日平均		11.7		

(年間通所日数 242日)

※()内は平成 22 年度実績

1 3 静岡市心身障害者ケアセンター（社会福祉事業）

(1) 障害福祉サービス事業 自立訓練（機能訓練） 定員 20名
日中一時支援（空席利用）

(2) 障害福祉サービス事業 自立訓練（生活訓練） 定員 10名
日中一時支援（空席利用）

静岡市心身障害者ケアセンターは、静岡市より指定管理者として自立訓練事業を行った。

身体障害の利用者の多くは、身体機能の維持・向上のため機能訓練を強く希望され、静岡医療福祉センターから訓練スタッフの派遣を受けて実施している。知的障害の利用者は、精神障害を合併し作業所等への通所が困難になった方や、こだわりが強く配慮の必要な方が利用されている。

現在、多くの利用者が自立訓練の支給期間が終了し継続利用を希望され、日中一時での利用となっており、入浴や送迎を希望される方が多く、入浴・送迎サービス共にフル稼働で支援している。

また、新規利用・複数日利用希望の方も含め、常時調整を進めている。

- ・登録者数 136名 (132名)
 - ・利用実績延数 5,809名 (5,629名)
- 疾病別人員 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	百 分 比 (%)
(身体障害)		
脳性麻痺	44	52%
脳血管障害	15	18%
脳外傷	7	8%
脊椎損傷	3	3%
その他	16	19%
計	85	100.0%
(知的障害)		
知的障害	26	51%
脳性麻痺	6	12%
ダウン症	10	20%
自閉症	7	13%
その他	2	4%
計	51	100.0%

月別利用者数

区 分 年 月	自立訓練		区 分 年 月	自立訓練	
	実人員(名)	延人数(名)		実人員(名)	延人数(名)
23年	4月	133	24年	1月	135
	5月	132		2月	137
	6月	134		3月	136
	7月	134	合 計	1,604	5,809
	8月	131	月平均	133.67	484.08
	9月	131	一日平均		24.10
	10月	130			
	11月	135			
	12月	136			

(3) 障害者等相談支援事業

障害者生活支援センター城東は、静岡市障害者等相談支援事業として委託され、身体障害を主に三障害の相談支援に関わり、必要な機関との連絡・調整を行い、支援に関わっている。

ア	相談件数	3,169件(1,828)	相談人員	232名(188)
イ	その他の活動	身体障害者生活支援事業	6回	(2)
ウ	参加会議	主催した個別支援会議	6回	(5)
		参加した個別支援会議	17回	(5)
		連絡調整会議等	20回	(20)

※（ ）内は平成 22 年度実績

1 4 静岡市ワーク春日（社会福祉事業）

平成 23 年 10 月に「静岡市ワーク春日移管先法人の募集」を受け、プロポーザル審査の結果、平成 24 年度から建物を移管されることとなった。

施設名称の変更、送迎や給食などの事業見直しや、新体系への移行に伴う事業所申請などの様々な事前準備に追われる 1 年となった。

授産事業の受注件数はほぼ横ばいであるが、売上は昨年同比減少となった。利用者数についても、新規の利用が確保できず前年並みの利用となった。

(1) 身体障害者授産施設運営事業（一種事業）（定員 30 名）

受注件数

	件数（件）	
点字印刷事業	384	(414)
録音ワープロ速記事業	11	(8)
電話業務事業	20	(17)
DTP 事業	196	(168)
その他の事業	53	(56)
計	664	(663)

利用者数

	利用者数（名）	
定員	30	(30)
一日平均利用者数	20.7	(21.8)

(年間通所日数 244 日)

(2) 地域生活支援事業（福祉ホーム）（定員 6 名）

利用者数

	利用者数（名）	
定員	6	(6)
一日平均利用者数	4.4	(4.8)

※ () 内は平成 22 年度実績

1 5 静岡済生会看護専門学校 (公益事業)

本年度においては、次のとおり 119 名 (118 名) の看護師養成教育を行った。

この運営には、137,769,481 円 (141,505,506 円) の経費を要し、うち、18,545,000 円 (18,007,000 円) の補助金を県から受けた。

国は、医療・看護を取り巻く環境の変化に対応するため看護教育課程を改訂した。このため、より実践的な看護技術・知識が修得できる内容に再編成するとともに、新しい教育課程に即した看護師国家試験の全員合格を目指し、学生に対する学習指導を充実・強化をした。教員による一人ひとりの理解度に応じた指導や講師の特別授業を実施し、在校生 32 人全員が合格することができた。

また、看護師としての適性がある学生を確保するため、学校説明会やオープンスクールを開催するとともに、県内の高校を訪問し看護学生を目指す学生を募集した。

(1) 学年別在籍者数 (名)

区分	1 年次生	2 年次生	3 年次生	計
平成 23 年度	40	36	43	119
平成 22 年度	41	39	38	118

(2) 入学試験結果状況 (名)

区 分		平成 23 年度	平成 22 年度
受験者	推薦入試	13	29
	社会人入試	22	43
	一般入試	207	197
	計	242	269
合格者	推薦入試	12	11
	社会人入試	2	4
	一般入試	54	49
	計	68	64
入学者	推薦入試	12	11
	社会人入試	1	4
	一般入試	23	25
	計	36	40

(3) 卒業生の状況 (名)

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度
済生会総合病院	29	27
その他県内病院	1	0
県 外 病 院	2	1
進 学	0	2
そ の 他	0	0
計	32	30

(4) 看護師国家試験結果状況

(名・%)

	平成 23 年度			平成 22 年度		
	受験者数	合格者数	合格者率	受験者数	合格者数	合格者率
静岡済生会看護専門学校	32	32	100.0	30	29	96.6
県内看護専門学校(3年制課程)	-	-	95.1	639	612	95.8

平成 23 年度合格率 95.1%は、厚生労働省が発表した新卒者の合格率である。

※ () 内は平成 22 年度実績

1 6 静岡済生会訪問看護ステーションおしか (公益事業)

(1) 訪問看護事業実績

平成 23 年度は介護保険、医療保険を含め訪問延件数は 14,492 件 (14,199 件) であり、平成 22 年度に比べ 293 件 (介護保険-340 件減少、医療保険 633 件増加) 増加した。また訪問延件数のうちサテライトみかど台分は 5,239 件 (3,869 件) であった。

介護保険延件数	11,451 件	(11,791 件)
医療保険	3,041 件	(2,408 件)
合 計	14,492 件	(14,199 件)
(月平均 1207.7 件 (1183.3 件) 1 日平均 49.1 件 (48.3 件))		

疾病別 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

病 名	人 員 (名)	百 分 比 (%)
神経系疾患	27	6.4
呼吸器系疾患	46	10.9
精神障害	4	1.0
脳血管系疾患	80	19.0
骨格系及び結合組織疾患	39	9.3
その他	225	53.4
計	421	100.0

月別訪問者数

年 月	取扱実人員 (名)	延 件 数 (件)
23 年 4 月	213	1,179
5 月	218	1,117
6 月	227	1,312
7 月	218	1,250
8 月	224	1,306
9 月	216	1,194
10 月	231	1,214
11 月	231	1,211
12 月	234	1,167
24 年 1 月	227	1,074
2 月	236	1,203
3 月	242	1,265
計	2,717	14,492
月 平 均	226	1,207.7
一 日 平 均		49.1

(年間訪問日数 295 日)

年齢別性別訪問者数 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) 単位: 名

年齢 性別	～ 59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 ～	合 計
男性	13	15	10	19	32	48	36	18	191
女性	16	10	9	13	35	41	47	59	230

(2) グループホーム等への訪問看護

認知症の方がグループホームのなじみの関係の中で、希望すれば、重度化しても終末期であっても最後までグループホームでの生活が継続できるよう支援した。

委託契約したグループホーム 1 施設に週 1 回の訪問をし、入居者の日常的な健康管理及びグループホーム職員からの相談への対応、また、必要に応じ医師との連絡調整及び指示書の発行を受け、医療処置等通常の訪問看護を行った。